

Q3：学級会の事前・本時・事後の指導においては、それぞれどのようなことに留意したらよいか。

A：学級活動の内容の（１）「学級や学校の生活づくり」の話合い活動（＝学級会）では、「集団討議による集団目標の集団決定（小学校学習指導要領解説 特別活動編 H20.8 文科省より）」をすることになる。教師は、計画委員会への事前の指導は積極的に行うが、学級会では児童生徒の話合いを見守ることが基本となる。適切なタイミングで指導・助言を行いながら、子どもたちが自分たちでよりよい集団決定ができるようにすることが大切である。学級会を充実させるための事前・本時・事後指導における主なチェックポイントを以下に示す。

<事前指導におけるチェックポイント>

1 問題の発見	<p><input type="checkbox"/> 教室内に「学級活動コーナー」を設け、議題ポストや提案カードを用意しているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 議題の提案へつながる児童・生徒のつぶやきを見付け、助言することで、問題を発見する視点を伝えているか。</p> <p>例：朝の会や帰りの会で話題になったことから 学級日誌に書かれていることから 係活動や当番活動の感想から 児童会から学級へ依頼されたことから 学級から児童会に提案したいことから</p> <p>※はじめは教師が助言したり、時には例示することも必要。</p>
2 議題の選定	<p><input type="checkbox"/> 計画委員会（輪番制）を組織し、学級会で取り上げる議題を選定させているか。</p> <p>※計画委員会については、学校体制で、昼休みや始業前の朝読書等の時間に、週1回程度、定期的に位置付けるなどの方法が考えられる。</p> <p><input type="checkbox"/> 選ばれなかった議題の取扱いについて、提案者に伝えているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもに任せることができない内容について理解しているか。</p> <p>例：個人情報やプライバシーに関わること（個人情報の公開等） 相手を傷付けるようなこと（個人を責める内容、人権に関わる内容等） 教育課程に関わること（時間割の変更、学級単独での遠足等） 校内のきまりや施設・設備等の利用に関わること（体育館の使用、菓子の飲食等） 金銭徴収に関わること（プレゼント代の集金等） 健康安全に関わること（危険を伴うゲーム等）</p>
3 活動計画の作成	<p><input type="checkbox"/> 計画委員と教師が話し合いながら活動計画を作成しているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 提案理由、学級会の役割分担、決まっていること、話し合うこと、話合いの順序、話合いのめあてなどを明確にし、教室内の学級会コーナーに掲示して事前に共通理解を図っているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 提案理由は、現状の問題点（今こうなってしまう）、考えられる解決の方法（こうすることで）、解決後のイメージ（こうしたい、こうなりたい）などを踏まえて書かれているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 話し合うことは、学級会1時間をかけて話し合う価値のあるものになっているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 「何をするか」「どのようにするか」「係分担はどうするか」という3つの大きな課題について話し合うことになっているか。また、その中でも「どのようにするか」に重点が置かれているか。</p>
4 問題の意識化	<p><input type="checkbox"/> 自分の考えをあらかじめ学級活動ノートにまとめさせ、助言や励ましをして、自信をもって話合いに臨めるようにしているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 事前に教師が目を通し、提案理由からそれた意見は個別に指導しているか。</p>

<学級会におけるチェックポイント>

1 「決まっていること」の提示	<input type="checkbox"/> 「決まっていること」を明確に示しているか。 (例:「学級お楽しみ会」の場合だったら「場所」「日時」「決める遊びの数」など)
2 思考の可視化・操作化・構造化	<input type="checkbox"/> 短冊を利用し、出された意見を分類・整理して比べやすくしているか。 <input type="checkbox"/> 賛成/反対マークを、色を変えて貼るなど、話し合いの過程が分かるようにしているか。 <input type="checkbox"/> 「出し合う→比べ合う→まとめる(決める)」の話し合いの流れが分かるように示し、見直しをもって時間内に決めることができるようにしているか。 <input type="checkbox"/> 目安の時間を示し、時間を意識して話し合うことができるようにしているか。
3 教師の指導助言	<input type="checkbox"/> 人権を侵害するような発言があったときや話し合いが混乱したとき、提案理由や話し合いのめあてからそれたときなどは、その場で指導・助言を行っているか。 <input type="checkbox"/> 司会の児童生徒だけでなく、全員に対して助言し、学級全体の話し合いの力が高まるようにしているか。 <input type="checkbox"/> 小学校低学年などにおいては、必要に応じてはじめに教師が話す時間をとり、提案者の思い等を確認しているか。 <input type="checkbox"/> 話し合いで合意形成を図るために、以下のような折り合いの付け方を発達の段階や実態に応じて指導・助言しているか。 (例:【折り合いの付け方の具体的な指導・助言】 <input type="checkbox"/> それぞれの考えの違いやよさを比べやすくする 「似た意見をまとめてみよう。」 「いくつかに分類してみよう。」 <input type="checkbox"/> 建設的な話し合いにする 「相手の意見を尊重した言い方をしよう。」 「ただ反対でなく、問題点を指摘して改善を求めよう。」 「折り合うためには、少し譲って、相手の意見を取り入れるようにしよう。」 <input type="checkbox"/> 多様な意見を生かす話し合いにする 「それぞれのいいところを合わせよう。」 「指摘された問題について、改善点を示そう。」 「全て賛成ではなくても、条件付きで賛成しよう。」 「両方のいいところを取り出して、全く新しい考えを生み出そう。」)
4 終末の「先生の話」	<input type="checkbox"/> 前回の学級会と比べてよかったこと、次回の学級会に向けての課題、司会グループへのねぎらい等についてコメントするとともに、実践への意欲を高める声かけを行っているか。

<事後指導におけるチェックポイント>

1 実践の準備	<input type="checkbox"/> 進んで活動している係を賞賛するとともに、活動が滞っている係や児童生徒には仕事の内容を明確にするなど、個別に助言しているか。
2 実践	<input type="checkbox"/> 話し合いのときの提案理由に立ち返り、めあてをもって活動できるよう助言しているか。 <input type="checkbox"/> 個人や集団の頑張りを賞賛し、自信をもって活動できるように支援しているか。
3 振り返り	<input type="checkbox"/> 自分の言動を振り返る自己評価や、互いのよさを認め合う相互評価を取り入れ、成果と課題について整理しているか。 <input type="checkbox"/> 個人の評価を積み重ね、自己の変容を振り返る資料としているか。 <input type="checkbox"/> 全体についての成果と課題は、学級活動コーナーに掲示し、次の活動に生かしているか。 <input type="checkbox"/> 学級通信などにより、家庭にも家庭にも活動の様子や成果を伝えているか。

学級の諸活動について話し合っ解決する活動を通し、望ましい人間関係や社会参画の態度を育てるとともに、違いや多様性を乗り越えて「合意形成をする言語能力」の育成を図りたい。

【参考資料】

- | | |
|--------------------------------|-----------|
| ・「楽しく豊かな学級・学校生活をつくる特別活動(小学校編)」 | H25.7 国研 |
| ・「小学校学習指導要領解説特別活動編」 | H20.8 文科省 |
| ・「中学校学習指導要領解説特別活動編」 | H20.9 文科省 |